

評価項目	評価結果・改善方策
学校経営	(1) これまで継続してきた青少年赤十字(JRC)活動の態度目標である「気づき、考え、実行する」を意識した教育活動を実践し、授業や諸活動でさらに発展させることができた。また、Teams を導入した授業改善や ICT 機器を活用した学習動画の配信など、ICT 教育の推進を進めることができた。
	(2) ICT を活用し、遠隔地の中学校、特別支援学校、校内の各学年等と交流し、連携を進めることができた。情報主任中心に ICT 研修会やこれまでの研修や研究の成果を授業実践に生かすような研究会や研究推進し、今後も実践的に深め、広めていきたい。
	(3) 今後もあらゆる教育活動の場面で、「気づき・考え・実行する」という JRC の態度目標をベースとして、自立を促す意図的な指導を継続してきた。生徒の個性を生かすために表現活動などの指導を、今後も充実させていきたい。
組織運営	(1) 教職員同士、日頃から協力・連携し合い、「報告、連絡、相談、確認」を意識して教育活動にあたってきた。各々が自分の校務分掌を意識して、学校運営に積極的に参画している。
	(2) 避難訓練等を通して、生徒及び教職員は、防災・減災、自助・共助の重要性を学習し、危機管理意識、危険予測能力育成が図られてきた。過去に水害を受けた地域に生まれ育った生徒たちには、今後も風水害についての体験的な学習や訓練に取り組ませていきたい。
	(3) 学校経営方針を実効あるものにするために、今後も行事の精選・取組内容や運営組織等の見直しを進めていく。学校が全生徒の心の居場所となるように、生徒の些細な変化も見逃すことなく、個を大切に教育活動を組織(チーム)として意思疎通に向けた働きかけを強化したい。
学習指導	(1) 授業中でも学習場面や学習内容に応じて、「主体的・対話的で深い学び」を促すためのツールとして、Teams を活用してきた。生徒同士が直接ではないものの、自分の考えや感想を可視化しながら、交流できる場面を授業内に設定することができた。実践を重ねてきた ICT 機器を活用した日常の授業や、学校の授業と家庭学習とを関連させる取組は、とても効果的であった。
	(2) 家庭で宿題にかかる時間が少なく、反対にスマホやゲームをやっている時間が長いことが考えられる。家庭への働きかけや課題の出し方、伝え方の工夫を改善していく必要があると感じた。指導する側もキャリア発達を促すような、声かけや活動を仕組んでいきたい。また、情報モラル的な意識を高めさせていきたい。
	(3) わかる授業への改善に向け、12月の生徒の回答は100%肯定的であった。親や先生に教えてもらおうとしている点では、生徒の学ぶことへの知的要求が高まっている。また、わかりやすい授業とともに、個別に自学・自習したり、他者と協働的に課題解決を進めたりできる学習能力や態度を身に付けさせていくことが求められている。「主体的・対話的な深い学び」を通して、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続ける態度を育成していきたい。
生徒指導	(1) 職員会議や運営委員会等で生徒指導上の課題を共有し合い、組織的にチームとして対応することができている。ネウボラ課、SC や SSW 等と連携し、チームとして教育相談を積極的に進めながら、生徒理解を始め、積極的な生徒指導を行ってきた。生徒、保護者の多くが学校生活に対して、肯定的に捉えている。特別な支援が必要な生徒に対する配慮や体制の関わりについて職員で共通理解していきたい。
	(2) 生徒や親の価値観、生活習慣が年々変化している。悩みを抱えながらも頑張っている生徒達への支援を、学校と家庭、地域が連携してしっかりと進めていきたい。また、生徒達の健全な心の発達が促されるよう、教職員の研修、専門家による保護者も交えた学習会等を計画・実施することも、継続していく。

	(3)	教員と生徒とのコミュニケーションを一層深めるとともに、今後も外部の専門職との連携を図りながら、チーム学校として組織的に対応していく。保護者との連携を密にし、生徒の些細な変化も見逃さないように意識し、問題行動の未然防止に努めていく。生徒の心の支援に関する研修会への参加や、専門家による情報モラルに関する学習会等も、保護者も交えて継続して実施していく。
地域連携・その他	(1)	青少年育成武川地区民会議、武川小中学校運営協議会、主任児童委員、地区民生委員などと連携し、地域で生徒を見守る体制ができている。「あいさつ」や「時や場所での言葉遣い」、「清掃や当番活動」「育成会レクリエーション」等、地域の方々からも、本校生徒の行動や態度に高い評価をいただいている。「清掃や当番活動」でも9割以上の生徒・保護者が肯定的な回答をしている。あいさつや奉仕活動への意欲が高い武川中のよさを今後も継続していくことができるよう、これからも地域との交流を大切に、「地域で主体的に生きる力」をもった子どもたちの育成を行っていききたい。今年度3年ぶりに実施した、伊豆半島ジオパークの地学的郷土学習、2年ぶりに行った中山ハイキングでは、地域の方々の協力を得ながら、地域の自然環境と歴史とを関連させて学ぶ、とてもよい体験的な学習活動となった。
	(2)	教員は教えるプロとして、自信を持って授業実践を積み重ねていきたい。「気づき・考え・実行する」という学習・生活態度を今後も浸透させていきたい。1クラス 20 名前後の生徒の「よさ」を、前向きに評価し、熱意を持って指導・支援していく。少人数だからこそできる、一人一人が活躍できる場面を設定し、今後も生徒の個性を大切に伸ばしていきたい。
	(3)	武川小中学校運営協議会は2年目となり、組織を4つに分け、それぞれ活動を行ってきた。地域やそこに住む方々との結びつきを大切に、小学校や地域との連携をさらに深めていきたい。教育課程に基づきながら、福祉的ななかかわりの見直しや奉仕活動のボランティアの呼びかけと増員を課題とし、生徒の健全な成長と発達を支援する協力体制を家庭・地域といっしょに構築していきたい。

学校関係者評価の意見集約(学校運営協議会委員対象)

【学校の現状・行事等に関わって】

- ・小規模ながら生徒に対するよき指導等がとても感じられる。
- ・CS 委員とは関係ないが、普段仕事をしていると生徒たちが声かけをしてくれ「ありがとうございます」の一言が非常に嬉しいです。生徒たちはもちろん先生方ものびのびとしてとても明るく楽しいと感じられる。
- ・学校、生徒地域の相互理解と連携が良好と思えた安心である。
- ・思春期の生徒たちの悩み不安疑問に今後もきめ細かな支援をお願いしたい。
- ・学園祭、音楽発表会等生徒が生き生きと活動している姿を見ることができました。
- ・音楽発表会が素晴らしかったです。体を動かして歌う姿に感動しました。昔の私たちの学習とは大違いでびっくりしました。どなたが指導されているのか知りたいです。思わず、アンコール！！と言ってしまふところでした。
- ・日頃から心得について地震が発生した時、下校が出来なくなったときに準備

【生徒保護者アンケートに関わって】

- ・学校評価 17 家庭地域との連携と開かれた学校づくり学校ホームページに下校の時間を載せていただき、ありがたかった。しかし、もう少しホームページのアップの向上をお願いしたい。
- ・学校生活を充実して楽しいと感じている生徒 93%保護者 92%素晴らしいと思います。楽しいと感じてない生徒の個別の対応、支援、居場所をこれからもよろしく願います。

- ・どの項目も学校生活に肯定的に捉えている生徒が 8 割以上で素晴らしいと思います。特に、5 目標を持つことについては、月日が経つと、とかく 4 月の年度当初の目標を見失いがちになるところですが、生徒も親も数値が上がっている点驚きました。これこそ先生方の日頃の指導の成果ですね
- ・(7)も同様。(9)も先生方にとってはうれしい結果ですね。先生が分かりやすく教えてくれるが 100%ってすごくないですか？一方、先生方の学習指導の自己評価はだいぶ謙遜されていると感じますがどうでしょう。
- ・7 月と 12 月の比較があって、より捉えやすいと思いました。グラフの中の紫色が何かよくわかりませんが、小学校と同じで肯定率は高いですが、少数意見についても考える必要があるのではないかと思います。保護者の記述文章にほっとしました。良い関係ができていたと感じました。
- ・アンケート調査結果から生徒、保護者、学校の立場が明確になり、今後の方向性がわかりやすい。

【まとめ】

(1)学校経営に関すること

小規模校ではあるが、それを生かして、心身ともに健康である子供達の育成を進めていただきたい。また、生徒たちに根付いてきた文化を継続するような願いを感じた。今後も、小・中や地域との連携を進め、幅広い人間性と価値観を育成して欲しい。小さい集団だからこそ、多様性を受け入れ、お互いを認め合うことができる学校づくり、生徒の育成に尽力していただきたい。

(2)学校運営に関すること

地域に根差した行事として「ふれあい活動」、「中山ハイキング」が定着してきている。あいさつや奉仕活動への意欲が高い武川中のよさを今後も継続していくことができるよう、これからも地域との交流を大切にしたい。
「地域で主体的に生きる力」をもった子どもたちの育成を行っていきたい

(3)学習指導に関すること

ICTを活用した授業改善に加え情報モラル教育にも取り組み、学校だけでなく、家庭・地域でも進めていく必要がある。引き続き、ICTを活用した授業改善に積極的に取り組み、将来の目標を持たせるためにキャリア教育の視点で学習指導を進めて欲しい

(4)生活指導に関すること

学校や家庭、地域で、生徒一人一人をしっかりと見守っていく必要がある。また、生徒達の心の健全な発達が促されるよう、人間関係や情報モラルの研修会を行い、保護者も交えて専門家による学習の機会を計画することも必要と考える。

(5)その他

先生方が色々な役割や機会を与えてくれることで、大規模校ではできないような、チャンスを与えてもらえることがありがたい。先生方も大変だとは思いますが、そういう教育を続けて欲しい。